

三重県国土強靱化地域計画(中間案)についてのパブリックコメント概要

通番	箇所*	ご意見の概要	左記ご意見に対する県の考え方	(種別)
1	無電柱化の推進	<p>・無電柱化とは地中化であり、地中化することによるリスクを踏まえて検討すべきではないか。地中化では、電線をケーブルに代えて地中に埋設するが、変圧器等は地上に設置されることになるので、変圧器等が浸水すれば使えなくなる。また、地中化設備に被害が出れば、電柱のような早期復旧は難しい。</p> <p>・「無電柱化の推進」ではなく、「電柱倒壊による交通阻害防止の推進」とし、①無電柱化②強化柱化(重負荷用電柱と根元補強の組み合わせ)のどちらかを状況(停電長期可否と道路の重要度)に合わせて選択するようにはどうか。</p>	<p>原案どおりとします。</p> <p>県の地域計画は国の基本計画の記述を準用しており、現状においては、災害時の避難や応急対策活動を確実にを行うための市街地等における道路の安全性向上の手段として、無電柱化を想定しています。また、「三重県新地震・津波対策行動計画」においても、“電線類地中化の推進”を行動項目としています。</p> <p>いただいた提案(地中化した場合の浸水リスク)については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	中間案の記述への修正提案
2	災害情報の提供	<p>・「防災行政無線(屋外スピーカー等)の適正配置」とあるが、屋内(特に雨天時)では聞こえづらいので、屋内にいる人には、防災行政無線受信機の有償支給や、地域庁舎ごとにコミュニティーFM局を開局することによる災害情報の提供を行ってはどうか。</p>	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案
3	情報収集	<p>・対策本部で情報を一括収集して流す方法では、タイムラグが生じたり、末端まで情報が届かないおそれがある。行政の末端でも緊急の情報収集ができるように、消防救急デジタル無線受信機を配備してはどうか。</p> <p>・衛星携帯電話、MCAデジタル無線、業務用デジタル無線を、状況により組み合わせ使用できるように配備してはどうか。それらを使用しても通話が確保できない地域では、アマチュア無線のクラブ局を設け、アマチュア無線の非常通信を活用してはどうか。</p>	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案
4	陸路の確保	<p>・災害時の物資輸送や災害復旧関係者が移動できるルートを確認するため、高速道路、高規格道路では登録車両のみが走行できるようにするなど、迅速な展開ができるような運用が必要ではないか。</p> <p>・鉄道輸送として、近鉄には客車で支援物資輸送が可能かどうかを検討してもらい、JR東海にはディーゼル機関車で貨物輸送が可能かどうかを検討してもらってはどうか。</p>	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案
5	海路及び海上交通の確保	<p>・鳥羽港、長島港、鵜殿港を防災拠点港とし、岸壁の強化と水深の確保を行う。海上交通手段の確保としては、水産高校の実習船の更新時に多目的機能を持たせたり、伊勢湾フェリーに対して支援を行ってはどうか。</p> <p>・高速道路等では渋滞が発生しており、伊良湖港が被災すれば渥美半島からの支援が望めないことから、師崎航路の復活を支援してはどうか。</p>	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案

通番	箇所※	ご意見の概要	左記ご意見に対する県の考え方	(種別)
6	空路及び航空機の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・陸路が交通渋滞で機能しない場合の対策として、陸上自衛隊明野航空学校に、輸送機での支援物資の搬入を検討してはどうか。 ・東紀州で津波の及ばないところに、ヘリポートを整備してはどうか。 ・ヘリコプターは陸地での救助活動に重点を置くと思われるので、救難飛行艇による海上での捜索活動ができるか、関係箇所と調整してはどうか。 ・消防飛行艇の採用を国に働きかけてはどうか。 	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案
7	燃料の備蓄	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄燃料は経年劣化するもので、日頃から燃料を利用し、都度補充するようなサイクル化を図るべきではないか。 	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案
8	全般〔メーカーへの要請〕	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、製油所の統合やガソリンスタンドの減少で燃料不足が予想され、かつ、ガソリンは自動車での移動に優先されるので、メーカーに灯油発電機やディーゼル小型自動車の開発を要請してはどうか。 ・トラクターのPTOを活用した発電機について、小型トラクターで利用できる発電機の開発をメーカーに要請してはどうか。非常用発電機で一番の問題点はエンジン部分の維持管理であるが、日頃からエンジンを稼働させているトラクターであれば維持管理が不要となる。 	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案
9	地域消防力向上(消防団等の育成)	<ul style="list-style-type: none"> ・昼間人口と夜間人口を分けて考え、自主防災組織として活用してはどうか。 ・昼間人口に関しては、企業のBCPIに地域防災を組み入れてもらえるように要請してはどうか。夜間人口に関しては、土日を利用して自主防災力を向上させてはどうか。 ・自主防災組織には、林野火災用小型可搬高圧ポンプを配備してはどうか。 	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案
10	インフラ(電力)	<ul style="list-style-type: none"> ・架空線であれば配電設備の復旧は早いですが、送電設備の復旧には時間がかかるので、送電・変電設備が被害を受けた場合の想定停電範囲と復旧所要期間を電力会社に検討してもらい、その結果から、被害状況に合わせた避難先・避難方法を想定してはどうか。 ・地震により一旦停電した後、どのような手順を踏んで送電するのかを電力会社に確認して、配電盤の処置を県民に周知してはどうか。 	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案
11	インフラ(道路)	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県内は川が多いので、仮設橋(モバイルブリッジ等)について検討してはどうか。 ・今後、架け替えにより撤去される橋があり、その橋脚に問題がない場合は、橋脚の下部を残して仮設橋の架台としてはどうか。 	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案

通番	箇所※	ご意見の概要	左記ご意見に対する県の考え方	(種別)
12	避難所	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面から、組立式シャワーユニットや合併浄化槽を備えてはどうか。また、それらを動かすため、非常時対応用の発電機と燃料を備えてはどうか。 ・井戸を掘り、中水として使用できるようにしてはどうか。汲み上げには電動及び手動ポンプを備えるとともに、雨水タンクを設置して屋根の水を集めるようにしてはどうか。 	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案
13	住民(個人)	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器または投てき型消火剤の設置、雨水タンクの設置を推奨してはどうか。 ・住宅の耐震化が難しい場合、耐震ベッド(シェルター)を推奨してはどうか。 	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案
14	全般[庁舎]	<ul style="list-style-type: none"> ・折りたたみ防災ポートを配備して防災用品の収納場所とし、浸水時には救難活動に活用してはどうか。 	<p>具体的な取組の提案であり、今後、県の地域計画に関連する取組の参考とさせていただきます。</p>	具体的な取組のご提案

※箇所の表記は、意見者ご本人による記載のとおりです。